

「たつぷりアメリカ——春のみんぱくフォーラム2012」

雪と氷の地、乾燥した砂漠や草原、熱帯雨林などの多様な自然。古代文明の興亡、ヨーロッパによる植民地化、アメリカやアジアからの移民などの重層的な歴史。そして、さまざまな人間と文化の出会いと交わり。アメリカの多様性と興行を味わっていたたくため、イベントをたつぷり用意しました。
会期 3月25日(日)まで

◆関連イベント

◆「みんぱく映画会／みんぱくワールドシネマ「バチャマの贈りもの」」
日時 2月19日(日) 13時30分～16時
(開場13時)

場所 講堂(先着450名)
※参加無料、申込不要
※当日10時から講堂入口にて整理券を配布

◆展示場クイズ

「みんぱくQ アメリカ編」
期間 2月2日(木)～2月28日(火)
場所 アメリカ展示場
※要観覧料、申込不要

◆「みんぱくセミナー」
左のページをご覧ください。

◆「みんぱくウィークエンド・サロン」
フォーラムの間には、特別シリーズとしてアメリカに関するお話をお届けします。詳細は本誌24ページをご覧ください。
※この他にもイベントを予定しています。お楽しみに！

国際シンポジウム

「エイジング——多彩な文化を生きる」
本シンポジウムでは、多文化状況や生活の激変を経験する高齢者のウェルビーイングを考えることを通じて、多様な文化的価値観・文化資源の共有に向けた具体的実践、地域生活者が共生環境を創出する意義と方途を議論します。

①セッション「文化多元社会における高齢者のウェルビーイング」
日時 2月25日(土) 13時～17時
会場 講堂(定員450名)
※参加無料、申込不要、日英同時通訳

②セッションⅡ「高齢者のウェルビーイング追求から生活の場の共有へ」
セッションⅢ「災害地における生活変動と高齢者ケア」
日時 2月26日(日) 9時30分～17時
会場 第4セミナー室
定員 80名(先着申込順)

※参加無料、要申込、日英同時通訳
申し込み方法等、詳細はホームページでご確認ください。

国際公開シンポジウム

「インクルーシブデザインとは何か——ケアと育みの環境を目指して」
ケアや育みを効率的、効果的に進める環境を整えるためにインクルーシブデザインが果たす役割を考えます。インクルーシブデザインとは、多様な存在を包摂する社会を実現するためのヨーロッパ発のデザインコンセプトです。
日時 3月3日 13時～16時45分
会場 講堂(定員450名)
※参加無料、申込不要、同時通訳なし

みんぱく公開講演会

「ヨーロッパと日本の宗教——問いなおされる救済のかたち」
今回の講演会では、現代ヨーロッパでのキリスト教の信仰のありかた、アジアの中にも日本人にとっての宗教観についてのお話を通して、宗教とはなにかについて考えることにします。

講演1「ヨーロッパにおけるキリスト教——地域・民族・生活の視点から」
新免光比呂(国立民族学博物館准教授)

講演2「日本人の宗教観——多元共存を可能にする思想とは」
保坂俊司(中央大学教授)

日時 3月16日(金) 18時30分～20時45分
(開場17時30分)
会場 オールホール(大阪・梅田毎日新聞社ビル地下1階)

定員 400名(先着申込順)
※参加無料、要申込、手話通訳あり
参加申込方法

「公開講演会参加」と明記の上、氏名・郵便番号・住所・電話番号・今後の講演会などの案内送付希望の有無を書いて、ハガキ、FAX、メールにて下記「研究協力係」までお申し込みください。

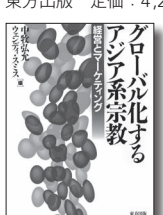
刊行物紹介

■小長谷有紀 著
『ウメサオタオと出あう』
——文明学者・梅棹忠夫入門』
小学館 定価：1,365円



この本は、昨年みんぱくで開催された「ウメサオタオ展」で入場者が「はっけんカード」に書き込んだ感想を紹介しながら、特別展実行委員長だった著者がウメサオタオの波及効果を読み解いており、梅棹忠夫の入門書となっている。

■中牧弘允、ウェンディ・スミス 編
『グローバル化するアジア系宗教——経営とマーケティング』
東方出版 定価：4,200円



本書は経営とマーケティングの視点から国境や地域を越えて教線を拡張するアジア系宗教を分析し、社会問題化した統一教会や法輪功の経営戦略を分析した論文など、新しい視点や情報を提供している。

●「展示場新構築のお知らせ」
ヨーロッパ展示と「テオテーク、学習コーナー」、本館展示場出入口付近が3月に新しく生まれ変わります。それに伴い、展示場の一部が工事のため閉鎖されます。
閉鎖期間 3月14日(水)まで
*電話でのお問い合わせの受付時間は9時から17時(土日祝を除く)です。

FAX 06・68778・8479
E-mail: koenkai@dc.minpaku.ac.jp
お問い合わせ先
研究協力課 研究協力係
電話 06・68778・8209

「ウメサオタオ展——未来を探検する知の道員」
みんぱくで開催された特別展「ウメサオタオ展——知的先覚者の軌跡」をバージョンアップしたもので、とくに「情報産業論」に関する展示が増えます。
会期 2月20日(月)まで
会場 日本科学未来館
東京都江東区青海2-3-6
電話 03・35770・9151(代表)
http://www.mirakan.jst.go.jp/sp/umesaotao/

みんぱくセミナー

会場 国立民族学博物館 講堂

時間 13時30分～15時(13時開場)

定員 450名(当日先着順)

参加費 無料(展示をご覧になる方は、観覧料が必要です)

第405回 2月18日(土)

「たつぷりアメリカ——春のみんぱくフォーラム2012」関連
カレンダーから現代宗教を見る
講師 中牧弘允(国立民族学博物館教授)



みんぱくには1000点をこす世界各地のカレンダーが収集されています。そのなかからとくに現代宗教にかかわるものを取り出し、その意味を文化的・文明的に理解し、世界の動きのなかでどのような役割をはたしているかをかんがえます。カレンダーは身近なアイテムですが、奥は意外に深いのです。

第406回 3月17日(土)

文化とアイデンティティ——ビルマ／ミャンマーの今
講師 田村克己(国立民族学博物館教授)



東南アジアのビルマ(現国名ミャンマー)は、新しい憲法の公布、総選挙を経て「民主化」と新しい国づくりに向けて一歩をふみ出しています。そのなかには、世界遺産へ登録申請など、国際社会へ加わりようとする動きもみられます。この国の今の動き、さまざまな文化の動きを通して述べます。

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 国立民族学博物館 第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員登録必須)

第405回 3月3日(土) 14時～15時

世界のバスポート／バスポートの世界
講師 陳天璽(国立民族学博物館准教授)
バスポートはなぜ必要なのでしょう? 世界各地のさまざまな種類のバスポートの事例を通して、それぞれの保証内容や発行機関について、また、発行する側と所持し、使用する側の意識のずれなど、人ひとの帰属意識をめぐる思いについても考えてみます。

第406回 4月7日(土) 14時～15時

ベトナム北部山地における盆地民と山地民
講師 樫永真佐夫(国立民族学博物館准教授)
この地域では、土地の高低に応じて、言語や習慣の異なる民族がたがいに関わり合いながらすみわけてきました。たとえば盆地民の黒タイは機織りで有名ですが、サーと彼らがよぶ山地民たちがしばしば綿花を供給してきました。両者のふかいつながりについて、伝承なども紹介しながらお話します。
※当日はキットとよばれる織物をじつさいにご覧いただけます。

「たつぷりアメリカ——春のみんぱくフォーラム2012」関連
親子ワークショップ

ひよつたんの楽器をつくろう——ホビのくらしとお天気
3月10日(土) 13時30分～15時30分
ホビの人たちのくらしやお祭りのお話を聞いて、ひよつたんの楽器をつくります。展示場も見学します。
※要申込。材料費600円。お話を聞くだけの方は無料でご参加できます。

第80回民族学研修の旅

アドリア海交易のかがやき
——バルカンの民族・歴史を考える
2012年5月17日(木)～26日(土) 10日間
訪問先・ボスニア・ヘルツェゴビナ、クロアチア、モンテネグロ、アルバニア

※お申込、お問い合わせは上記友の会まで

国立民族学博物館
ミュージアム・ショップ

電話 06-6876-3112
FAX 06-6876-0875
e-mail shop@senri-f.or.jp
水曜日定休

ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/

チョコレートに感謝の気持ちをこめて

2月のミュージアム・ショップでは、いろいろなチョコレートをお届けしました。
人気のフェアトレード・チョコレート(10種類)をはじめ、スフーアの形をしたチョコや、お湯に溶かして楽しむホットチョコレートなど、世界中のいろいろなチョコレートがみなさまのご来店をお待ちしております。
14日のバレンタインデーには、大好きな人やお世話になった人に感謝の気持ちをこめて、ちよつとかわつたチョコレートを贈ってみてはいかがでしょうか。
もちろん、自分へのご褒美にも。



フェアトレードチョコレート
50グラム(7種類) 各280円(税込)
100グラム(3種類) 各560円(税込)